

写真図版



1 A～C区全景 (西から)



5 F区西端全景 (西から)



2 B・C区全景 (東から)



6 D～G区全景 (西から)



3 G区全景 (西から)



7 D～F区全景 (東から)



4 F区東側全景 (南から)



8 D区西側全景 (東から)

图版 2



1 第1号住居跡遺物出土状況(1)



5 第1号住居跡床面伏襲検出状況(2)



2 第1号住居跡遺物出土状況(2)



6 第1号住居跡埋葬



3 第1号住居跡完掘



7 第1号土壌



4 第1号住居跡床面伏襲検出状況(1)



8 第4号土壌



1 第5号土坑



5 第14·15号土坑



2 第6号土坑



6 第17·18号土坑



3 第7号土坑



7 第19·20号土坑



4 第8号土坑



8 第21·22号土坑

图版 4



1 第23号土坑



5 第1号沟迹



2 第31号土坑



6 第2号沟迹



3 第1号井戸迹



7 第1・2号沟迹



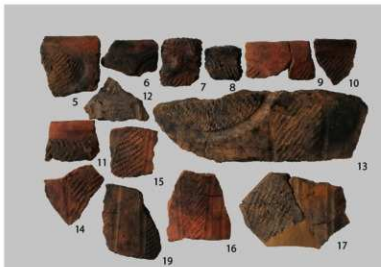
4 第1号井戸迹半截



8 第3号沟迹



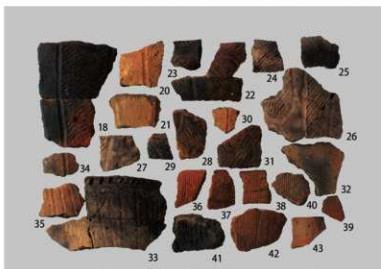
1 第1号住居跡 (第8图1)



4 第1号住居跡 (第10图5~17·19)



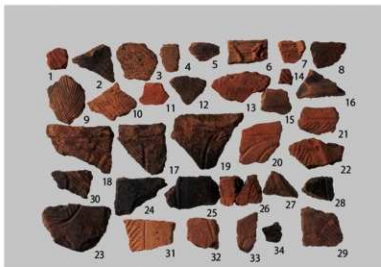
2 第1号住居跡 (第9图2)



5 第1号住居跡 (第10图18·20~43)



3 第1号住居跡 (第9图3)



6 遺構外出土土器 (第13图1~34)

図版 6



1 第1号住居跡 (第9図4)



4 第1号住居跡 (第11図1~8・12図9)



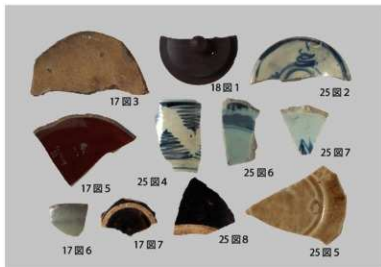
2 第1号住居跡 (第12図10)



5 遺構外出土石器 (第14図)



3 第1号住居跡 (第12図11)



6 土壌 (第17図3・5~7)・第1号井戸跡 (第18図1)・
その他の出土遺物 (第25図2・4~8)



1 第1号仕器繪 (第8图1)



2 第1号仕器繪 (第9图2)



報告書抄録

ふりがな	たてはらこうじいせき							
書名	立原小路遺跡							
副書名	地方特定道路（改築）整備工事（一般県道坂本寄居線）関係埋蔵文化財発掘調査報告							
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第397集							
編集者名	赤熊 浩一							
編集機関	公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4丁目4番地1 Tel. 0493-39-3955							
発行年月日	西暦 2012（平成 24）年 11 月 27 日							
所取遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
立原小路遺跡 第1次	埼玉県大里郡 寄居町大字立原 428-7他	11408	254	36°06'19.289"	139°11'28.096"	20110301 ～ 20110331	277.00	道路建設
立原小路遺跡 第2次	埼玉県大里郡 寄居町大字立原 139-4他	11408	254	36°06'18.649"	139°11'31.306"	20110407 ～ 20110531	356.00	道路建設
所取遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
立原小路遺跡 第1次	集落跡	近世	土壇 溝跡	1 3基 4 条	瓦質陶器・陶器・磁器			
立原小路遺跡 第2次	集落跡	縄文時代中期	竪穴住居跡	1 軒	縄文土器・石器		縄文時代中期の加曾 利 E Ⅲ 式期の敷石住 居跡を検出した。	
		近世	土壇 溝跡 井戸跡 ピット	2 0基 1 条 1 基 1 1基	瓦質陶器・陶器・磁器・ 土製品・鉄製品			
要約								
<p>立原小路遺跡は、寄居町立原の荒川右岸に形成された標高 120～125 m の河岸段丘上に位置する。調査では、縄文時代の敷石住居跡の出現を考えるうえで、貴重な資料を得ることができた。検出された住居跡は、石圍いすを中心として結晶片岩の板状石材を利用し敷設された円形の敷石住居跡である。出土した土器から縄文時代中期後半（約 4200 年前）の加曾利 E Ⅲ 式期の時期と考えられる。一般的に敷石住居跡は柄鏡形をしていて、その出現は縄文時代後期と考えられていることから、本例は県内で最も古い時期の事例である。この円形の敷石住居跡の出現背景には、長野県や群馬県地域に同様の敷石住居跡が確認されていることから、埼玉県と長野・群馬県地域の交流が窺える。近世の遺構は、土壇と溝跡、井戸跡を検出した。溝跡は現道と並行した位置で検出されていることから、先行する道路の側溝跡と考えられる。また、井戸跡は石組み構造で常滑の急須蓋が出土した。これらの資料は、この地域の生活や歴史を知る貴重な手掛かりとなる。</p>								

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第 397 集

立原小路遺跡

地方特定道路（改築）整備工事（一般県道坂本寄居線）関係
埋蔵文化財発掘調査報告

平成 24 年 11 月 19 日 印刷

平成 24 年 11 月 27 日 発行

発行／公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒 369-0108 埼玉県熊谷市船木台 4 丁目 4 番地 1

電話 0493 (39) 3955

<http://www.saimibun.or.jp>

印刷／朝日印刷工業株式会社